

急にお腹が痛くなった場合



西条市医師会副会長
西条市西条病院常務院長
西条市衛生名誉院長 謙輔

供は総論的なものが多かったように思いますので、今回は急にお腹が痛くなったときに緊急受診をしなければならぬケースについて考えてみましょう。

急にお腹が痛くなる病気としては、急性虫垂炎、胆石症・急性胆のう炎、胃・十二指腸潰瘍の穿孔、急性膵炎、骨盤腹膜炎、腸閉塞、腸重積（小児に多い）、尿管結石、腸間膜動脈血栓症などがあります。こうした病気のときは一刻も早く病院へ行き治療を受けることが必要です。

①急性虫垂炎

これは皆さんもよくご存じの病気ですが、最初は少しムカムカする、みぞおちがちよつと痛いというくらいですが、半日もたつとその痛みが右下腹部に局限してくるのが特徴です。その部分を押さえられると飛び上がるほど痛いとか、押さえられたときよりも押さえた手を離れたときのほうが痛い場合は炎症がかなり進んでいる状態です。白血球も増えていることが多いです。診断がつけば手術します。

②胆石症・急性胆のう炎
この場合は右の上腹部に痛みが起こり、背中にも痛みがきた

り、吐き気を伴うことがあります。黄疸は出る場合もあります。ない場合もあります。胆石症だけでは白血球は増えないことが多いですが、胆のう炎では白血球が増えることが多いです。炎症が強く手術が困難な場合は、胆のうに体の外から管を入れて胆汁を体外へ誘導し、炎症がおさまってから手術することもあります。

③胃・十二指腸潰瘍の穿孔

潰瘍に穴が開く状態です。十二指腸の方が壁が薄いので、十二指腸潰瘍穿孔の方が圧倒的に多いです。レントゲンを撮るとお腹の中に漏れた空気が写ることが多いです。

④急性膵炎

以前は診断がつくと即手術をしていましたが、最近は手術せずに治すこともあります。

⑤骨盤腹膜炎

お腹の骨盤に囲まれた範囲に炎症が起こるものをいいます。

膣臓は消化液を出す臓器ですが、ここに炎症が起こると、みぞおちの部に激しい痛みが起こります。痛みが左の背中へ抜ける場合もあります。白血球や血液中のアミラーゼという消化酵素が増加することが多いです。炎症を抑える薬で治療しますが、時には手術が必要になる場合もあります。

クラミジアという性行為でうつるばい菌が原因になることが多いです。

抗生物質で治りますが、性行為の相手の治療も必要です。

⑥腸閉塞

腸がねじれたり、腸が癒着して食べ物を通りが悪くなつて起こります。

単純な癒着によるものは手術せず鼻から腸へ通した管から胃液・腸液を体外へ誘導するだけで治ります。腸がねじれていた

⑦尿管結石

腎臓から膀胱へおしっこを通す管の中に石がつまる病気です。石ができた側の横腹や背中が激

烈に痛みます。石ができる原因として痛風のもとになる血液の中の尿酸が高いことがありますので、石の治療だけでなく尿酸を下げる治療も必要です。

5mm以下の結石は自然に落下しますが、それよりも大きくなって落ちてこない石に対しては、衝撃波破碎装置で石を砕く治療を行います。

⑧腸間膜動脈血栓症
腸に血液を送る動脈が血栓で詰まり、腸が壊死する（腐ってくる）病気です。本人の痛みが強いわりに、お腹の圧痛などが強くないために症状が進行しな

いと診断がつかないということがあります。

画像診断などで診断がつかない場合、手術する必要があります。致死率の高い病気です。

⑨胃や腸のアニサキス症

まれな病気ですが、サバやアジの刺身、あるいはしめサバを食べると、その魚肉の中にいるアニサキスという寄生虫が胃や腸の壁に頭を突っ込むため、激しい痛みが起こります。

虫が胃の中にいるときは胃カメラで虫をつまみ出せば治りますが、虫が腸まで行くと腸が腫れて腸閉塞を起こすことがあります。

そのほか、心筋梗塞でもお腹の痛みが出る場合があります。注意が必要です。急にお腹が痛くなる病気は大体以上のようなものですが、このようなときには夜中でもためらわず病院を受診してください。

